

◆ 主な研究課題・事業 ◆

課題1 さくらんぼオリジナル新品種「山形C12号」の高品質安定生産技術の確立

さくらんぼ新品種「山形C12号」（やまがた紅王）の速やかな普及拡大に向け、大玉果実（3L果実）を安定して生産するための技術の確立を図ります。さらに、軽労的な新樹形への適応性を評価します。



オリジナル新品種
「山形C12号」（やまがた紅王）

課題2 さくらんぼの長期貯蔵技術の開発と「山形C12号」の輸出実証

さくらんぼの販路確保と観光資源としての活用を強化するため、8月上旬までの長期貯蔵技術を開発します。

さらに、大玉で硬肉の新品種「山形C12号」（やまがた紅王）の試験輸出により、輸出時の課題と対応策を明らかにします。



輸出実証試験（R1 台湾）

課題3 元気創出！さくらんぼの新たな省力・安定生産技術開発

労力不足や気象変動に対応し、安定したおとう生産を持続させるため、新樹形（Y字、V字、平棚）における省力的な着果管理技術および簡便な防霜対策技術を開発します。

また、経営の大規模化を見据えた、新樹形の機械管理の体系化を目指します。



作業台車利用による摘心作業
（Y字仕立て）

課題4 生産性・安全性を向上させた新たなりんごわい化栽培技術の開発

わい性台木を利用した新しいりんご樹形を開発するとともに、除草や灌水等の管理の自動化・機械化を組み合わせることで、労働生産性・安全性の高い新たなりんごわい化栽培技術を確立します。

課題5 果樹複合経営に対応した ぶどう栽培技術の開発

6月に複数の果樹で作業が競合するため、「シャインマスカット」の省力技術を開発します。

また、省力的で複合経営に取り入れやすい醸造用ぶどうの早期多収技術を確立し、ぶどう耕作放棄園の有効活用を図ります。



「シャインマスカット」の短梢H型仕立て

課題6 将来の産地維持に向けた 西洋なしの新樹形の開発

作業の省力化や単純化が可能で、気象災害に強い西洋なしの新樹形（改良型Y字、V字、ロンバス、平棚）について、栽培特性を明らかにし、樹形構築のための技術を開発します。



西洋なしのV字仕立て

課題7 凍害に強いもも多主枝形仕立ての 省力・安定生産技術の開発

凍害に強いももの多主枝仕立て（弱せん定）を導入する際に、樹の大きさと多大な着果管理労力が課題となるため、わい性台木を利用したコンパクトな多主枝形仕立て、および多主枝形仕立てにおける新たな着果管理技術を開発します。



ももの多主枝形仕立て